

今年も道南技術士委員会の方々と一緒にお邪魔してきました 「技術士を知ろう！ in 函館高専」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」。2019年度の活動第4弾は、昨年に引き続き、函館工業高等専門学校社会基盤工学科の3年生を対象に実施しました。今年も青年技術士交流委員会(青技交)、道南技術士委員会の連携・協力を得て実施しています。

2. 実施概要

開催日時：2019.8.6(火)13:10～14:45

講義内容：技術士資格の説明、制度概要等
技術士の仕事内容と役割(講演2編)
高専卒業後の仕事、働き方等

対象者：函館工業高等専門学校 社会基盤工学科
3年生 34名

参加幹事：小澤、仁田、三吉、千葉、木本(記)
(ミライ研5名)、
道南技術士委員会から原田ほか数名

3. 技術士資格の説明、制度概要等

函館高専OBである三吉技術士の司会・進行で開始した「技術士を知ろう！」は、まず、小澤技術士より技術士資格の説明として技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってからの仕事をする上での資格取得の重要性等の説明を行いました。

自身の会社での処遇等も交えた説明で、今後の進路等を考えるうえで非常に参考になったようです。また、過去に函館高専の先輩方が多く第1次試験に合格している事例を紹介すると、ずいぶん身近な“自分ごと・自分たちごと”として認識してくれたようでした。



写真-1 優しい語り口で進行した三吉技術士(幹事)



写真-2 冒頭の概説を行う小澤技術士(代表)

4. 技術士の仕事内容と役割

(1) 技術士の仕事(仁田技術士)

具体的な仕事内容の紹介1人目は、(株)雪研スノーイーターズに勤務する仁田技術士から、関わってきた仕事の紹介をしました。前職での測量に関する仕事や、現職の雪に関する仕事、さらに、資格等を取得することで転職、現在の立場になっているという経歴も交えた説明で、就職後の就業イメージや資格の重要性等が伝わったように思います。

(2) 技術士の仕事(原田技術士)

続いて函館高専OBで道南を中心に活躍している原田技術士から、土木系コンサル、自身の担当する橋梁点検・補修の仕事、海岸での越波対策の仕事を紹介。自身の学生時代のことを振り返りつつ、社会人として働くこと、地元で働くことの面白さ等をOBならではの視点で学生たちの視線を集めました。(別途、道南技術士委員会からの活動レポートにも掲載されています。そちらもご参照ください。)

5. 高専卒業後の仕事、働き方等

講演最後は千葉技術士より高専卒業後の仕事や働き方等を紹介。苫小牧高専を卒業してすぐに就職、技術士を取って現在の仕事についているという自身の経歴を踏まえ、高専卒の強みや働いてからの頑張りが重要であること等を説明しました。5年間在籍する高専で3年生はちょうど中間時期、まだ漠然としてしか自分の「専門」を意識できていない時期ですが、これからの進路、自分たちの“ミライ”を考えるうえで参考にしていただけたようです。

6. 質疑応答

質疑応答では、紹介事例の内容にかなり踏み込んだ質問も出たほか、「技術士の勉強法」や就職・進学に関する質問も寄せられ、和気あいあいとした雰囲気ですべて終わることができました。

7. まとめ

学生からの感想には「技術士という資格の大切さを知る事が出来てよかった」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。アンケートでは、有効回答数33人のほとんどが「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、33人中29人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれていました。

また「今回の講演のおかげで将来設計の考えの幅を広げることができ、とても良い時間だったと感じました」といった感想もいただきました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は5段階評価でいずれも4.8と学生に高評価だったの

も一因だったのでは、と考えています。

なお、函館高専での開催ということで、今回は道南技術士委員会のメンバーにも参加・講演いただきました。次年度以降も、地元で活躍するメンバーが所属する道南技術士委員会にも協力いただいての開催にしたいと考えています。



写真-3 仕事紹介をする仁田技術士(幹事)と熱心に聞き入る学生さんの様子



写真-4 OBとして語る原田技術士(道南技術士委員会) 近い世代のOBの声は学生さんによく届きます



写真-5 高専卒のメリットを熱く語る千葉技術士(幹事)